

目的:本学の開設している授業科目、「公開講座」、「サクラソウ里親制度」と、NPOつくばアーバンガーデニングの「花と緑を生かした地域社会作り」をもとに、学生と市民が共に活動を実践しながらガーデニングによる環境創生活動のあり方や問題点を捉えてその解決方法を探る。本プログラムでは、必要な植物の遺伝的背景や栽培技術、植物と人間の関係、地域環境や花壇デザイン、果樹を活かした庭造り等についての知識と技術を有し、かつ実践できる人を育成する。

ガーデニングマイスタープログラム









担当教員からのコメント

● 本プログラムでは、地域におけるガーデニング（公園・花壇作り）のあり方を学生と市民が共同しておこなうことを志向した。学生と市民が一つの実習や課題に取組むことで、世代や立場を超えてお互いに刺激し合い助け合う姿が新鮮であった。特に課題別学習では、身近なベランダ園芸から行政が関係する公共公園まで幅広いテーマに取り組み、それぞれに知恵と労力を惜しまずに問題解決を図り、社会と距離のありがちな学生には極めて貴重な体験となった。（半田　高）

● ガーデニングコースにおいて主に実習を担当したが、市民は非常に積極的で、実習においても、サポート役を買って出た学生達を逆にリードしていた。市民にはいつまでも、この「学ぶ」気持ちを忘れずにこれからもいろいろな場面で、活躍して頂きたいと思う。また学生には、これから社会に出て行くうえで、今回の経験で学んだことを生かしていってもらえたらと思う。（瀬古沢由彦）


